



運動会に向けてスタート

園庭には、かけっこのトラックが引かれ、運動会に向けての取り組みがスタートしています。綱引きやソーラン節の練習も始まり、子どもたちの声援やかけ声も大きくなっています。運動会に向けてみんなで協力して頑張っていこうとする気持ちが伝わってきます。特に、年長さんが朝からリレーの練習をしていて、力強い走りを見せています。ただ、連日の猛暑で、午前中から園庭での活動を中止にする日もあります。運動会は子どもたちが楽しみにしている行事でもあります。熱中症や体調管理に気を付けながら、運動会では素敵なパフォーマンスが出せることを願っています。



地震の場合の避難訓練

9月6日に地震が起きた場合の避難訓練をしました。避難訓練の前には地震がどんな災害であるかを各クラスで話しました。今年は1月に能登半島で地震がありました。この時の写真や動画を使って、地震で建物が揺れたり、家具が倒れたりするなどの様子を伝えるクラスもありました。実際の訓練では、地震の揺れが収まったことを合図に、園庭へ避難し、さらにバス車庫前まで避難しました。子どもたちは、避難訓練の合言葉である「おはしも」を守って、落ち着いて避難できていました。

災害は、いつ起きるかわかりません。こうした避難訓練を通して、自分の命は自分で守ることの大切さを繰り返し学んでほしいと思います。



百年の森で虫探し

9月に入り、虫の鳴き声を耳にします。子どもたちは、虫探しも大好きです。虫網や虫かごを幼稚園に持ってく



るお友だちもいます。クラスごとに百年の森に虫探しに行く姿もよく見かけます。今の季節はバッタが草むらで跳ねています。降園時に、バッタの入った虫かごを手に掲げて、「園長先生、バッタ、見て見て」と嬉しそうにお話をしてくれるお友だちもいます。園の裏庭でも、虫を探している子どもたちの姿を見ることがあります。これからは、コオロギも見かけるようになります。身近なところで虫探しができる本園の環境は恵まれているなあと実感します。

教育実習生を迎えて

附属幼稚園の役割として本学学生の教育実習生の受け入れがあります。先週は、10日と11日に初等教育コースの4年生が2日間、12日には心理専攻の学生10名が、本園で教育実習を行いました。学生にとって教育実習は、教育現場を体験できる貴重な機会です。実習生が、それぞれに子どもたちと遊んだり、お話をしたり、一緒に食事をしたりするなど積極的に子どもたちと関わろうとする姿が印象的でした。子どもたちの方も学生さんと遊ぶのは大好きで、すぐに仲良しになっていました。

こうした教育実習での学びを大学での学修と結びつけながら、社会で活躍できる人材になってほしいと思います。

